



プロジェクトチームのメンバー（J E A S提供）

コロナ予防で注目 管理運用の注意点掲載

J E A S が作成

サーモカメラの普及促進で冊子

日本万引防止システム協会（J E A S、稲本義範会長）は7月30日、都内で会合を開き、サーモグラフィ・システム（略称・サーモカメラ）の安全な普及促進を図るための冊子を作成した。

サーモカメラは人体表面を温度確認する機器で、コロナ感染予防で注目が集まっている。冊子はサーモカメラ関連の用語説明、導入のメリット、使い方、管理運用の注意点などを掲載。サーモカメラに関する用語の定義は今まで曖昧な部分があったが、冊子はそれらを正しく説明し導入時に役立つ内容となっている。

同協会は、サーモカメラの店舗・施設での普及推進を目的に、メンバー10人、オブザーバー5人からなるプロジェクトチームを6月に発足した。今回が2回目の会合だった。